

<骨 症例① 解答>

部位コード	C40.2
部位テキスト	右大腿骨
組織型コード	9180/33
組織型テキスト	Osteosarcoma,grade3

c TNM	T1N0M0
c 付加因子	G3
c Stage	IIA
c 進展度	限局
p TNM	手術なし
p 付加因子	手術なし
p Stage	手術なし
p 進展度	手術なし

<<解説>>

部位コード/部位テキスト…CT所見より「右大腿骨」

組織型コード/組織型テキスト…生検結果より「Osteosarcoma,grade3」

組織型コードの6桁目にはgrade3を反映し「9180/33」

cTNM…部位が大腿骨のため【四肢骨、躯幹骨、頭蓋・顔面】で分類

cT：CT所見『腫瘍は約55mm』より「T1」

cN：CT所見『病的腫大リンパ節は認められません』より「N0」

cM：CT所見『遠隔転移は認められません』より「M0」

c付加因子…生検結果の『grade3』より「G3」

cStage…cTNMとc付加因子より「IIA」

c進展度…cTNMより「限局」

pTNM/p付加因子/pStage/p進展度…観血的治療を行っていないため「手術なし」

<骨 症例② 解答>

部位コード	C41.4
部位テキスト	左腸骨翼～白蓋
組織型コード	9220/32
組織型テキスト	Chondrosarcoma,grade2

c TNM	T3aN0M0
c 付加因子	GX
c Stage	該当せず
c 進展度	隣接臓器浸潤
p TNM	T3aN0M0
p 付加因子	G2
p Stage	該当せず
p 進展度	隣接臓器浸潤

<<解説>>

部位コード/部位テキスト…MRI 所見より「左腸骨翼～白蓋」

組織型コード/組織型テキスト…手術の病理診断より「Chondrosarcoma,grade2」
組織型コードの6桁目には grade2 を反映し「9220/32」

cTNM…部位が腸骨翼～白蓋のため【骨盤】で分類

cT：MRI 所見『腸骨翼～白蓋にかけて (=2 区域)』『60mm の腫瘍』
『結合組織へ進展 (=骨外進展あり)』の情報より「T3a」

cN：領域リンパ節転移に関する記載はないため「N0」

cM：遠隔転移に関する記載はないため「M0」

c 付加因子…情報がないため「GX」

cStage…骨盤の骨の肉腫に病期はないため「該当せず」

c 進展度…cTNM より「隣接臓器浸潤」

pTNM…部位が腸骨翼～白蓋のため【骨盤】で分類

pT：手術の病理診断『長径 61mm の病変』『腸骨翼の一部を破壊して増殖し、白蓋と
その周囲の結合組織に進展 (=2 区域、骨外進展あり)』の情報より「T3a」

pN：特に記載はないため cN を引用し「N0」

pM：特に記載はないため cM を引用し「M0」

p 付加因子…手術の病理診断『grade2』より「G2」

pStage…骨盤の骨の肉腫に病期はないため「該当せず」

p 進展度…pTNM より「隣接臓器浸潤」

<軟部腫瘍 症例① 解答>

部位コード	C49.0
部位テキスト	後頸部
組織型コード	8851/39
組織型テキスト	Well-differentiated liposarcoma

c TNM	c T3N0M0
c 付加因子	GX
c Stage	該当せず
c 進展度	隣接臓器浸潤
p TNM	c T3N0M0
p 付加因子	GX
p Stage	該当せず
p 進展度	隣接臓器浸潤

<<解説>>

部位コード/部位テキスト…MRI 所見より「後頸部」

組織型コード/組織型テキスト…手術の病理診断より「Well-differentiated liposarcoma」

〔 ※高分化型脂肪肉腫は、記載されている分化度等の情報により形態コードの頭4桁が決定される。そのため記載されている分化度は6桁目に反映させない。 〕

cTNM…部位が後頸部のため【頭頸部】で分類

cT：MRI 所見『長径 72mm の腫瘍』より「T3」

cN：領域リンパ節転移に関する記載はないため「N0」

cM：遠隔転移に関する記載はないため「M0」

c 付加因子…情報がなため「GX」

cStage…頭頸部の軟部肉腫に病期はないため「該当せず」

c 進展度…cTNM より「隣接臓器浸潤」

pTNM…部位が後頸部のため【頭頸部】で分類

pT：手術の病理診断『長径 70mm ほどの病変』より「T3」

pN：特に記載はないため cN を引用し「N0」

pM：特に記載はないため cM を引用し「M0」

p 付加因子…情報がなため「GX」

pStage…頭頸部の軟部肉腫に病期はないため「該当せず」

p 進展度…pTNM より「隣接臓器浸潤」

<軟部腫瘍 症例② 解答>

部位コード	C48.0
部位テキスト	後腹膜
組織型コード	8858/31
組織型テキスト	Dedifferentiated liposarcoma,grade1

c TNM	T1N0M0
c 付加因子	GX
c Stage	I A
c 進展度	限局
p TNM	T1N0M0
p 付加因子	G1
p Stage	I A
p 進展度	限局

<<解説>>

部位コード/部位テキスト…CT 所見より「後腹膜」

組織型コード/組織型テキスト…手術の病理診断より「Dedifferentiated liposarcoma,grade1」
組織型コードの6桁目には grade1 を反映し「8858/31」

cTNM…部位が後腹膜のため【後腹膜】で分類

cT：CT 所見『腫瘍は 25mm 程』、腹部エコー所見『23mm 程度』より「T1」

cN：CT 所見『病的リンパ節腫大は認められません』より「N0」

cM：遠隔転移に関する記載はないため「M0」

c 付加因子…情報がなため「GX」

cStage…cTNM と c 付加因子より「I A」

c 進展度…cTNM より「限局」

pTNM…部位が後腹膜のため【後腹膜】で分類

pT：手術の病理診断『直径 15mm 大』より「T1」

pN：特に記載はないため cN を引用し「N0」

pM：特に記載はないため cM を引用し「M0」

p 付加因子…手術の病理診断『grade1』より「G1」

pStage…pTNM と p 付加因子より「I A」

p 進展度…pTNM より「限局」